

ひがししらかわ



6年生に手をひかれ入場する新1年生（関連7ページ）

村長室から

○最後の「村長室から」です

私が村長を拝命した平成十八年に東白川C A T Vが完成しました。時の流れは早いもので二期八年が経過し、その間月に一度自主放送番組と広報誌などで村民の皆さんに私の思いや情報を伝えてきました。農業と白川茶しか知らない私が村の緊急事態に直面し、亡き安江啓次村長のあとを引き受けましたが、わずかな議員の経験しかない私は「市町村合併の破たん、厳しい財政状況、進む少子高齢化、そして商業施設の弱体化や病院の経営難などを一気に解決するのは難しいものがある」と考えた日が昨日のようです。どれを取っても解決は難しく、身の丈にあつた小さな努力を続けるより方法は無いと考えました。以来八年が経過しても依然として厳しい本村ですが、村民の理解と協力そして助け合う人情があれば美しく住み良く安心できる東白川村が持続可能であると確信しています。

私は多くの皆さんに支えられてきました。しかし山積する課題は現状維持がやっとであり改善には程遠いものがあります。人口減少は共通の課題であり、それによりあらゆる施策が変わります。今後の村政運営は少子高齢化と人口減少をどう受け入れるかが大きなテーマになります。私も一村民となり皆さんと共に小さいながらもキラリと光る東白川村を目指して協力したいと思います。



総額予算

37億4,930万円

前年度比 14.6% 増

防災行政無線デジタル化、橋梁修繕工事、中学校教材用パソコン更新など

一般会計 25億2,000万円

特別会計総額 12億2,930万円

平成二十六年議会第一回定例会（三月四日開会・三月十日閉会）において本年度予算が議決されました。「人口減少に歯止めをかける」「地域資源を生かした持続可能な美しい東白川村を残す」を基本方針とした積極予算となりました。

入

村税は景気の動向が不透明ですが二十五年度の実績を考慮し、前年度比四・二％増で計上しています。

地方交付税は、地方財政計画で減額が見込まれていますが、臨時費目の地域の元気創造事業費分による増を見込み、前年度と同額の九億一千五百万円としました。

国庫支出金は、社会保障・税番号制度システム整備補助金、臨時福祉給付金事業費補助金、子育て世帯臨時特例給付金給付事業補助金などの新規補助金や、社会資本整備総合交付金、防災安全交付金などの継続補助金を予定して、前年度より三千九百八十六万円増を見込みました。

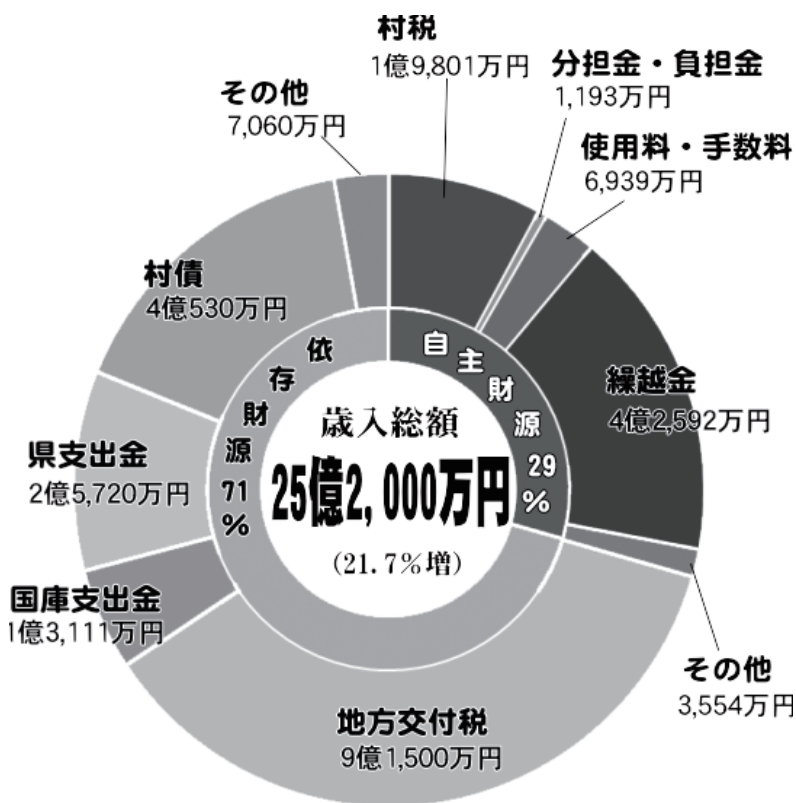
県支出金は、県単急傾斜地崩壊対策事業補助金、岐阜県市町村再生可能エネルギー等導入推進費補助金、新規就農総合支援事業補助金などを計上し、前年度より一億二千六十五万円増を見込んでいます。

村債は、公債費負担適正化計画

歳

の範囲内で有利な過疎対策債を主に活用しますが、ソフト事業では高校生通学等支援事業や農地流動化奨励金、高齢者等外出支援事業等に三千七百五十万円をCATV施設の機器更新や自然災害防止事業のほか、防災行政無線デジタル化事業、中川原水辺公園駐車場整備事業、製茶機械等導入事業など

一般会計歳入



ハード事業の財源として三億七百万円を計上し、これらに臨時財政対策債六千万円を加えた総額は、前年度より二億九百万円増となりました。また、線越金に、二十五年度の財政運営の状況を踏まえ、前年度より四千九百二十四万円増で計上し収支のバランスをとりました。消費税の増税については、はな

歳出

歳出は総合計画における基本計画の体系に沿って説明します。

産業活動が活発な

「にぎわい」のあるむらづくり

農林業振興策では、「中山間地域等直接支払推進事業」「農地・水保全管理支払交付金事業」などは継続、凍霜被害や販売価格の低迷で苦況にある茶業振興は、茶業経営安定化基金造成や製茶機械更新への補助金、県営中山間農業基盤整備事業による茶園造成を行い経営の安定化と茶生産の効率化を図ります。有害鳥獣対策ではモデル事業として集落で対策に取り組む事業を実施します。担い手対策として県制度の「あすなる農業塾」の参加者を対象に、トマトの新規就農支援及び新規就農育成支援事業の青年就農給付金制度を実施します。林業振興では年間を通じて林道、作業道管理を行う事業や「森林整備地域活動支援交付金事業」を継続し、森林の付加価値を高めるよう推進します。

商工業振興策では、中小企業退職金共済制度への加入促進の支援や商工業設備資金利子補給制度を継続実施します。また、商工会への支援を行うとともに、商品券発行事業を継続して支援します。

安全で快適な暮らしが実感できる「すみよさ」のあるむらづくり

県単土地改良修繕事業で中通路の修繕工事、県単農道舗装工事で神付農道舗装工事を実施します。急傾斜地崩壊対策事業では県事業で診療所裏を、県単補助事業で上小木の事業を継続推進します。また松枯れなどによる危険木の除去を積極的に推進します。

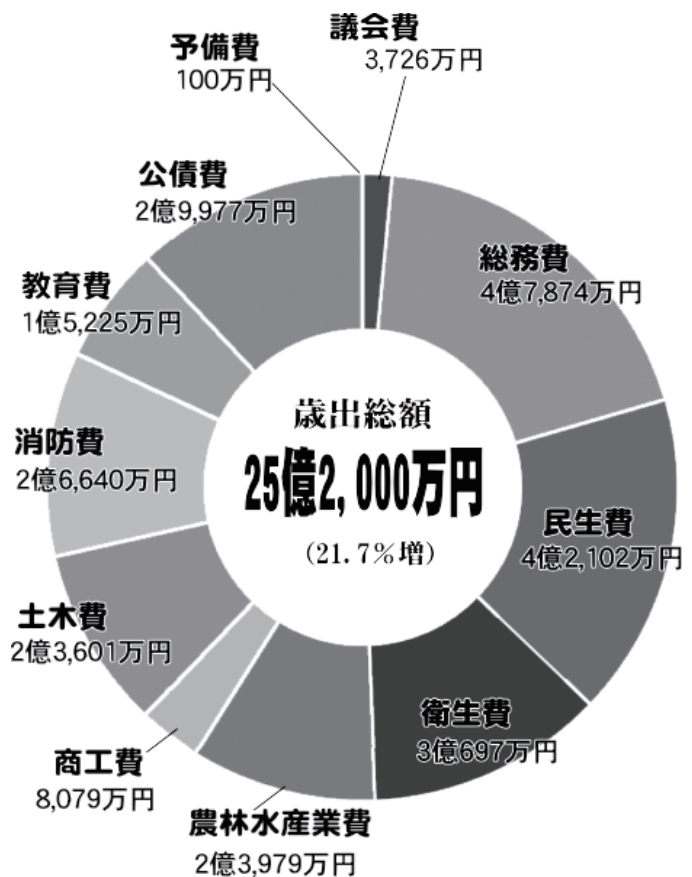
防災対策事業として防災行政無線のデジタル化や役場等の公共施設に太陽光発電パネル、蓄電池などを設置し、村民の安全確保に努めます。消防団については団員の確保に努めるとともに消防施設の充実を図ります。

道路橋梁維持事業では、社会資本整備総合交付金事業を活用し南北橋の修繕工事、神矢橋修繕調査委託、村道杉林線測量設計委託や村道維持修繕工事を行ないます。

フォレストスタイル事業は二年後の民営化に向けてスリム化を進め、地域おこし協力隊活動では、村内産品の販売や空き家対策などを継続し地域活性化に取り組みます。

人口対策推進事業では、村営住宅の建設、I・Uターン者の定住のための助成、出産祝い金事業を引き続き実施して人口対策の促進を図ります。

一般会計歳出



地域情報化対策事業では番組組自動送出設備の更新を行ないます。

お互いに助け合い安心して暮らせる「やさしさ」のあるむらづくり

高齢者等外出支援事業は、通院支援の他外出自体に苦労されている方への買い物支援などを実施し外出支援車両を有効活用します。

予防接種事業は、一才児から中学生までと生活保護世帯等はインフルエンザワクチン接種費用の全額助成、高齢者は費用負担を管内

市町と同額にする軽減措置を継続実施するとともに、予防接種広域化への対応を実施します。

福祉生活支援事業では、「一つちのこ商品券配布事業」と、在宅で常時おむつを使用している家庭や乳幼児がいる子育て中の家庭に、可燃ごみ袋無料配布を引き続き実施するほか、消費税率の引き上げに伴う事業として臨時福祉給付金給付支援事業を国の指導に基づき適正に実施します。

障がい者対策、高齢者対策事業では、地域生活を安定的に過ごし住み慣れた土地で誰もが安心して暮らせるように、第四期障害福祉計画を策定します。

子育て支援事業は、みつば保育園の園児用の机と椅子の更新を行い、園児の保育環境を整備します。消費税率の引き上げに伴う事業として子育て世帯臨時特例給付金事業を国の指導に基づき適正に実施します。

こころの「ゆたかさ」のあるむらづくり

高校生の支援事業は、通学バスを運行のほか、自宅通学する高校生への助成、下宿や寮で生活をしている家庭の支援、村内に住所を有する高校生等の医療費無料化も継続します。

小中学校運営では、教育委員会に指導主事を設置し学校運営を支援するとともに、防犯カメラシステムを設置し、児童生徒の安全確保に努めます。小学校は、運動場修繕工事の設計委託費を計上し、中学校は教材用パソコンを更新し教育環境を整備します。

公民館講座事業は、「お出かけ公民館講座」や文化協会との協働開催による講座を実施するほか、はなのき会館ホール事業としてス

ポーツ関係講師による講演会を計画しています。

健全な行財政運営に向けて

二十六年度は職員を三名と教育指導主事を採用しますが、常に業務改善を実施しながら適正な定員管理を行います。また、村税や国保税、水道使用料などの徴収率改善のためには、納税者の納税意識の高揚を図るとともに、地方税法等に基づいた厳しい措置をとらざるを得ない状況です。中濃県税事務所と協力して県・市町村徴税吏員併任制度を実施し、共同で滞納整理を行います。時効の管理、債権等の差し押さえなどの対策を引き続き実施します。

平成二十七年年度からスタートする第五次総合計画の策定については、村のめざす将来像と将来の目標を明らかにする重要な計画なので、地域の課題を明らかにした実効性のある計画策定に努めます。

一般会計の予算総額は前年度と比較して四億五千万円増の二十五億二千万円（前年度比二一・七割増）となり、積極的な予算となりました。村民の皆さんに直接関係する補助事業などは別にお知らせします。

国民健康保険特別会計
3億5,200万円 (1.9%減)

加入者七百四十五人を想定、主たる財源の保険税は六千五百三十三万円で、税率を据え置きしました。国保会計の運営課題は加入者一人ひとりの健康増進です。特に生活習慣病予防を目的とする特定健康診査の受診率向上を図るため、受診時の自己負担額の一部引き下げを行います。保険税等の未納対策には村税と合わせて収納率の向上に努めます。

介護保険特別会計
2億8,960万円 (13.8%増)

第一号被保険者一千三十四人を想定。基準となる月額保険料は前年度と同額としました。本年度は来年度からの第六期事業計画策定の年となり、国では大幅な制度改正が予定されています。介護保険制度の健全運営と、利用者へのサービスを安定的に供給するよう努力を重ねます。

簡易水道特別会計
2億5,000万円 (1.5%増)

現在九百七十七件に給水しています。前年度に引き続き、約九千八百万円で、大明神浄水場低区配水池、小峠配水池、穴沢ポンプ場等の機器更新を行います。水道使用料は、消費税の率引き上げに伴い改定を行います。利用者の負担が増えないよう料金の見直しも合わせて実施します。

下水道特別会計
2,250万円 (2.3%増)

四施設の小規模集合排水処理施設の管理を行っており、受益戸数は、宮代地区十九戸、平西地区三十四戸、平東地区二十三戸、平中地区二十二戸、合計九十八戸となっています。一部加入者の減少がみられる組合がありますので安定した経営を行うように対策を講じます。消費税の転嫁は見合わせました。

国保診療所特別会計
2億,7860万円 (2.1%減)

地域の医療センターとしての責任と期待を認識し、村民の疾病治療、健康管理に職員一丸となつて努力します。診療所へ機能転換を図つて七年目、介護老人保健施設にして五年目。医師確保の課題も続きますが、診療所事業改革委員会の答申に沿つて経営改善に努め、専門機関の調査分析結果を活かし診療所の将来のあり方を含め研究検討を進めます。また、職員の処遇改善の観点から老人保健施設夜間勤務手当の見直しを行います。

後期高齢者医療特別会計
3,660万円 (3.4%増)

後期高齢者医療特別会計は、七十五歳以上の方と、六十五歳以上七十五歳未満で一定の障がいがある方六百四十人を想定し保険料の徴収及び申請書の受付事務等に係る経費を計上しました。

中学生が考える住みよい村とは

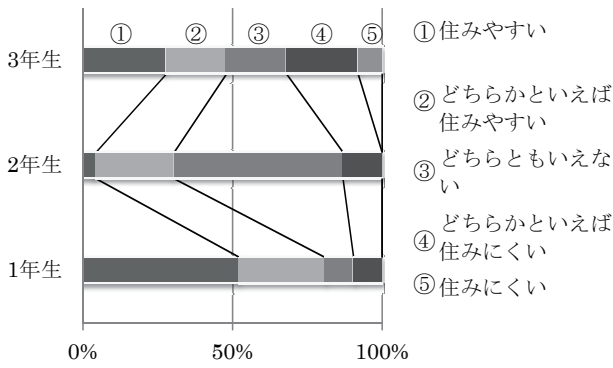
昨年十一月に行った、中学生を対象とした「住みよい村づくりアンケート」の結果がまとまりましたのでお知らせします。

調査は全校生徒を対象とし、自分自身の事に五項目、これからの東白川村の事に二項目の質問を行い回答を得ました。

【自分自身の事について】

左のグラフ①は、中学生が感じている「住みよさ」をグラフ化したデータです。

グラフ① 村はあなたにとって住みやすいですか



一年生では「住みやすい」が半数以上の回答になっているのに対して、二年生では「どちらともいえない」が一番多くなり、三年生になると「住みにくい」というのはつきりした回答も出てきました。

その理由として「交通の便が悪く、通学や通勤に不便」「公園や文化施設、スポーツ施設が無い」「店が少ない」といったことがアンケートの回答であげられていました。

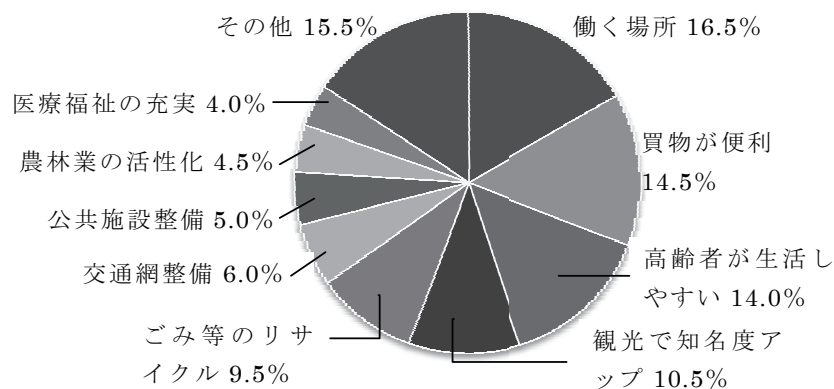
これらを含めて考えると、三年間の学習や部活動などを通じ自分の進みたい道が具体化し、将来自分が就きたい仕事が村内には無いことや他の市町と比較する力がつき、学年を追うごとにその理解が深まったことが結果にあらわれていると思われる。また、若者らしく外に出て自分の力を試したい、国際化が進む現在では海外で仕事をしてみたいと考える生徒もいるのではないのでしょうか。

【これからの村について】

グラフ②は、「住みよい東白川村」のために、今後重要だと思う内容への回答です。

二回にわたって広報誌で「村民

グラフ② 「住みよい東白川村」への重要項目



意向調査」の結果をお知らせしてきましたが、多くの中学生も同様な事を感じている結果があらわれました。

一番重要とした「働く場所の確保」は、村民意向調査でも一番多くご意見を頂いた項目でもあり、「買物が便利」や「観光で知名度アップ」なども含め、中学生と村民の皆さんの思いが一致しているといえます。また「高齢者が生活しやすい」「ごみ等のリサイクル」にも重要度を感じている事は、少子高齢化が非常に進んでいることや「日本で最も美しい村」連合に加盟したなど、村の現状をよく理

解していることがあらわれています。大きく違った点としては「医療福祉の充実」が低かったことです。体力のある年齢であることや、病気になっても保護者や家族がいる安心感が要因と考えられます。

【調査のまとめ】

中学校を卒業すると多くの生徒は村を離れて暮らしますが、村の小中学校では総合的な学習の時間などを使って、村を知る学習、職業体験、農林業体験などを行ない、村を愛する生徒を育てています。これらの学習の成果でいつまでも村が好きな子ども達が多いと感じられます。

また、子ども達は学年を重ねるごとに、その時々で村が取り組んでいる事業を的確に評価しているようですし、保護者を始め村民の方々が村づくりに汗を流している姿をしっかりと見ているようです。

最後に「あなたは将来東白川村に住みたいと思いますか」の問いには、二五%の生徒が住みたい、三二%が村外に住みたい、四一%がまだわからないと回答しています。子ども達が住み続けたい、村民全員が安心安全で夢が持てる第五次総合計画を策定していきたいと思えます。(総務課まとめ)

気軽に使ってみよう

はじめてのスマホ講座

高齢者にも関心が高い「はじめてのスマートフォン講座」が、三月十三日はなのき別館情報室で開かれ、二十三人が参加しました。

近年スマートフォンが普及が目ざましい中で、手軽な通信機器として利用が少なかつた五十歳代以降の方を主な対象者とし、基本操作の他にインターネットに接続する方法、メールに写真を添付して送信する方法などを学びました。

参加者は「詳しく教えてもらい、操作も楽しいので使ってみたい」と話していました。

今年度教育委員会ではこの講座以外にも色々な講座を開催予定です。是非ご参加下さい。



操作は画面をタッチして



たくさん読書ができるように

読書の楽しみが増加

小学校図書室の机を新調

三月十三日、小学校の図書室に新しいヒノキの机六台が搬入されました。

この机は村産材を使い、村内の木工所で加工されており、この日は最終工程にあたる、塗装を小学四年生が行いました。

この塗料には「柿渋」が含まれており、つやが出て色に深みがつき、体にも優しいそうです。ツンとする臭いに戸惑いながらも、全員が協力して作業にあたりました。

四年生は、母樹林公園散策や机のデザインを考えるなどの事前学習を行っており、今後は椅子も木製にする計画をしています。

退団者に感謝、入団者に期待

百十人体制でスタート

消防団の入退団式が三月十六日にはなのき会館で行われ、今井誠副団長ほか十四人が退団しました。また、九人の新進気鋭の若者が加入し、新体制がスタートしました。

式典では退団者の長年の功績に対して、安江村長から感謝状が手渡されました。

また、新入団者には安江真博団長から辞令と消防手帳が交付され、代表して森本健二さん(曲坂)が誓いの言葉を述べて消防団員としての一歩を踏み出しました。

入退団者は次の皆さんです。

【退団者】 敬称略

副団長：今井 誠 (神付)

分団長：有賀浩幸 (平)

部 長：田口紳一 (神付)、安江啓志 (西洞)、古田康二 (平)

班 長：今井誠人 (大沢)、安江賢 (柏本)、北村朋晴 (陰地)、安江剛郎 (平)、村雲康人 (中通)、安江昌弘 (中谷)

団 員：吉村隆浩 (平)、今井健太 (大沢)、新田真也 (平)、瀨瀬速人 (柏本)

【入団者】
瀨瀬信二 (柏本)、山田豊彦 (下野)
中島幸太郎 (神付)、熊崎将大 (神付)、田口雄平 (平)、森本健二 (曲坂)、田口克大 (陰地)、安江栄策 (大明神)、林純 (中津川市)



活動を振り返る有賀浩幸分団長

【平成二十六年本部役員】
団長：安江真博 (陰地)、筆頭副団長：今井美道 (神付)、副団長：牧野勇三 (日向)、村雲滝夫 (陰地)、分団長：安江太郎 (加舎尾)

、「訓練担当」藤井貴広 (大沢)、「ポンプ担当」土井啓也 (陰地)、副分団長「訓練担当」新田政直 (中通)、「ポンプ担当」田口健次 (陰地)、「予防・本部担当」田口清隆 (平)、「ラッパ・警備担当」安江太一 (中通)、第一部「五加」部長 土井宏治 (柏本)、第二部「神土北」部長 田口洋介 (中谷)、第三部「神土南」部長 大坪行洋 (親田)、第四部「越原下」部長 安江和隆 (日向)、第五部「越原上」部長 若井純 (大明神)

村の名所を育てる

桜の植樹と管理作業

桜やモミジなどを植えて村の新しい観光名所を作ろうと活動している東白川村観光協会が、三月二十三日に鮎ヶ瀬公園付近の桜・モミジの管理作業と、越原橋から魚戸橋にかけて、桜の苗木三十五本を植樹しました。

参加したのは協会員の皆さん十三人です。

国道二五六号線沿いの桜の植樹作業は、平成十八年頃に中津川市加子母境から始められ、これまでに約二百本が植えられています。

今後は県道下呂白川線沿いにも植樹を進め、白川町境まで植える計画で、観光協会では美しい村づくりを進めていきます。



越原橋付近には12本の桜を植えました



激励を受ける華緒さん（左）と莉緒さん（右）

大活躍を期待

高木さん姉妹、全国大会へ

美濃加茂高校に通う黒淵の高木華緒さん、莉緒さん姉妹（現在高校二年生）が、第十九回全国私立高等学校バレーボール選手権大会出場への報告に三月二十四日安江村長を訪ねました。

二人は小学三年生からバレーボールを始め、中学・高校と継続して取り組んできました。美濃加茂高校チームでは華緒さんがリベロ、莉緒さんはセッターを務め、一月に行われた岐阜県大会、東海大会を見事に勝ちぬぎ全国大会への切符を手に入れました。

村長から激励を受けた二人は「全国大会がんばります」と話し、東京都町田市を中心に行われる大会での活躍を期待させました。

新学期のスタートです

入園・入学式

みつば保育園の入園式が四日に行われ、〇歳児から三歳児十三人を新しく迎えました。

在園児代表の田口万優都くん（平）は「元気に仲良く遊びましょう」とあいさつし、保護者の見守る中、園児全員で「春が来た」と「チューリップ」を元氣よく歌いました。

今年度のみつば保育園は、未満児六人、もも組十六人、ゆり組十三人、年長のばら組は六人です。

また七日には小中学校で入学式が行われ、小学校に十七人、中学校に二十八人が入学し、期待が膨らむ新生活をスタートさせました。



入園初日、一つ目の出席シールをもらう



指導を受ける新入団員

新体制による消防団活動開始

九名の若き力が入団

四月三日、小学校体育館で新体制による消防団の今年度初の訓練が行われました。

四十二名が参加した今回の訓練では、新入団員の指導および集団行動の確認が行われました。

新入団員は副団長らの指導のもと、消防団における基本動作を学び、安江栄策さん（大明神）は「村の防災に尽力したい。」と話しました。

また、牧野勇三副団長は、防火防災のみならず、「加茂郡消防操法大会の三連覇を果たす。」と今年度の目標を掲げました。

おしらせ



すぐメールを登録してください

先月号でもお知らせしていますが、非常時や停電、交通情報など、すぐメールが大変便利になりました。これを機会に是非登録してください。

登録方法は、左のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み取り、後は画面の指示に従って操作すると登録が完了します。

QRコードが読み込みできない時は、下のメールアドレスに空メールを送信してください。

※ご利用には通信料がかかります。



t-higashishirakawa@sg-m.jp

教職員・村職員の人事異動及び各種団体新役員紹介

■東白川小学校

転入 教頭 川上二郎 (富加町教育委員会から)、教諭 和田有司 (高富小から)、教諭 大前慶和 (新規採用)

転出 教頭 日比野良明 (八百津小へ)、教諭 菱田亘 (今尾小へ)、講師 石原亮 (和知小へ)

■東白川中学校

転入 校長 神戸誠 (黒川中から) 教諭 高山雄匠 (山岡中から)、臨時主事 井戸麻美子 (新規採用)

転出 校長 林茂富 (坂本小へ)、教諭 井上誠 (長良西小へ)、事務主事 井田岳 (日野小へ)

■村職員 () は前職

退職 安江弘企、安江清高 異動 参事 松岡安幸 (総務課長兼議会事務局長)、

総務課長兼議会事務局長 安江宏、(国保診療所事務局長)、村民課長 小池毅 (産業建設課長) 産業建設課長 樋口章久 (産業建設課長補佐)、教育課長

伊藤保夫 (総務課長補佐)

佐兼行政係長)、国保診療所【地域医療センター】事務局長 安江良浩 (教育課長)、総務課長補佐 兼 行政係長 桂川憲生 (産業建設課長補佐兼地域振興係長)、村民課長補佐 今井義尚 (環境係長)、産業建設課長補佐 兼 地域振興係長 今井稔 (林務商工係長)、林務商工係長 安江透雄 (住民係長)、住民係長 伊藤秀人 (村民課主査)、環境係長 安江輝彦 (村民課主査)、産業建設課主事補 長谷川絃一 (教育委員会主事補)、地域医療センター 保健福祉部門 今井さち子 (研修派遣)

【新規採用】教育主幹 山田秀孝、総務課主事 林純、村民課主事補 安江郁哉、保育士 安江真央

■事務嘱託員
神土 大口 今井隆良、平 安江竹司、親田 渡辺昭彦、中通 高井吉男、神付 安江恒子、中谷 河田康、加舎尾 藤井一矢、西洞 今井光

越原 曲坂 今井良樹、日向 安江雅信、陰地 安江常利、栃山 桂川和也、黒淵 安江真治、大明神 安江誠

五加 柏本 安江一真、宮代 古田義隆、大沢 今井照夫、下野 今井克幸、久須見 古田啓治郎、

■区長
神土 大坪兼行 (親田)、越原 桂川信道 (陰地)、五加 島倉豊幸 (宮代)

■みつば保育園保護者会
会長 安江寛 (陰地)、副会長 吉村隆浩 (平)、安江三和 (栃山)

■PTA
中学校 会長 有賀清美 (平)、副会長 渡辺泰司 (日向)、大坪千寿 (平)、安江利修 (加舎尾)

小学校 会長 戸田圭伸 (曲坂)、副会長 安江輝彦 (西洞)、古田京子 (平)

■子ども会
会長 今井英樹 (下野)、副会長 阿部治 (中通)、田口泰宏 (大明神)、今井健二 (柏本)

■高校生保護者会
会長 田口正昭 (平)、副会長 安江真治 (黒淵)、安江修治 (下野)

常利、栃山 桂川和也、黒淵 安江真治、大明神 安江誠

五加 柏本 安江一真、宮代 古田義隆、大沢 今井照夫、下野 今井克幸、久須見 古田啓治郎、

■区長
神土 大坪兼行 (親田)、越原 桂川信道 (陰地)、五加 島倉豊幸 (宮代)

御寄付

ありがとうございます

※敬称略

【東白川村】

■ふるさと思いやり基金
金五十万円：和田明広 (知立市)

金百万円：宮田延子 (美濃加茂市)

金五万円：匿名

■交通安全指定
金十万円：野村孝 (柏本)

■医療・保健福祉部門
金十万円：桂川明義 (日向)

■保育園指定
折り紙コマ三十個：安江利美 (神付)

【社会福祉協議会】
金十万円：野村孝 (柏本)

金十万円：安江幸彦 (尾張旭市)

金一万円：匿名

■せせらぎ荘指定
金五万円：藤原タヨ子 (大明神)

金十万円：安江幸彦 (尾張旭市)

軍手、清拭布、タオル、レジ袋：島倉淑子 (親田)

タオル：今井信子 (大沢)

箱ティッシュ五箱、レジ袋：安江登貴子 (親田)

清拭布：わかば会

古切手：桂川和子 (日向)

東白川森林組合報告 第 687 回共販会 (3/18)	
ひのき	13cm 以下小丸太 平均単価 / 8,800 円
	14cm 以上 平均単価 / 23,400 円 高値 / 135,000 円
すぎ	平均単価 / 11,400 円 高値 / 23,000 円
赤まつ	平均単価 / 12,400 円 高値 / 30,000 円
総取扱量	928 m ³
総販売高	1,678 万 8 千円

今年の税の申告により給付対象者が判断されます
平成二十六年四月から消費税率が八%に引き上げられる対応として、所得の低い方や子育て世帯への影響を軽減するために、暫定的・臨時的措置として給付金が支給される予定です。

臨時福祉給付金
給付対象者：平成二十六年度分村民税（均等割）が課税されない方（但し、自分を扶養している方が課税されている場合や生活保護制度の被保護者となっている場合は対象外です。）
給付額：給付対象者一人につき一万円（高齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金などの受給者や児童扶養

手当、特別障害者手当の受給者の方などは、五千円加算されます。）
申請手続き：申請・支給手続きは準備中ですが、申請先は基準日（平成二十六年一月一日）に住民登録がされている市町村となります。

子育て世帯臨時特例給付金
給付対象者：児童手当受給者
給付額：子ども一人につき一万円
申請手続き：申請・支給手続きは準備中です
問合せ先：専用ダイヤル
〇五七〇・〇三七・一九二
厚生労働省 簡素な給付措置支給業務室、子育て世帯に対する臨時特例給付措置支給業務室又は診療所福祉係（有線八・二一〇〇）
※給付を装った振り込み詐欺にご注意ください。役場や厚生労働省から手数料などの振り込みを依頼する事は絶対にありません。また世帯構成や口座番号を問い合わせる事ありません。



プログラム

- 9時～受付
- 9時30分 開会式
- 10時 つちのこ捜索大作戦
関係イベントスタート
- 12時 捜索結果報告
- 14時 お楽しみ抽選会

今年もみんなで出かけよう
恒例のつちのこフェスタ 2014が、五月三日中川原水辺公園で開催されます。

捜索場所ですツチノコを型どった金色の板を見つけたら賞金一万二千五百円をゲットできる宝探し、各種ステージイベント、マスコカみ、クラフト体験などのイベントがいっぱい。ゴールデンウィークはつちのこフェスタで楽しんでください。

ご来場の際はお得なパスポートをご利用ください。
めぐみの農協東白川支店 茶の里会館、ふるさと企画、白川茶屋、商工会、味彩、森林組合、木造建築組合、タカブ研究会、てんとうむしガーデン組合、楓工房
問合せ先：東白川村観光協会（役場産業建設課内・内線二七〇）

県の助成を受けて実施
今年度の茶防霜施設整備に対する補助金交付事業は、岐阜県市町村振興補助金の助成を受けて実施しました。
この補助金は、各市町村が自ら行う意欲的・創造的な地域づくり事業に対して交付されるものです。

5月

日	曜日	加茂医師会 午前9時～午後5時
3	土(祝)	林クリニック(美濃加茂市/28-8899)
4	日	カブチ山田クリニック(七宗町/46-0035)
5	月(祝)	木沢記念病院(美濃加茂市/25-2181)
6	火(祝)	日江井外科(美濃加茂市/25-2624)
11	日	木沢記念病院(美濃加茂市/25-2181)
18	日	太田メディカルクリニック(美濃加茂市/26-2220)
25	日	安田内科クリニック(美濃加茂市/27-5088)

下呂市立休日診療所

■診療日時
毎週日曜日・祝日
午前9時～午後3時

■所在地
下呂市森 801-10
下呂市民会館1階
Tel. 0576-24-1200
※原則として
内科・小児科の急病患者

近隣の休日診療情報



●この情報は平成26年3月14日現在のものです。
この紙面に関するお問い合わせは、県広報課まで
☎058(272)1111(代) FAX058(278)2506
点字版・音声版をご希望の方は、
県広報課へご連絡ください。

8ch ボタンで
県広報

閲覧方法

①テレビを「ぎふチャン8ch」に合わせ、リモコンのdボタンを押す。
②リモコンの上下左右ボタンを押して、データ放送画面右上の「岐阜県からのお知らせ」を選択して「決定」を押す。

毎週木曜日更新

お知らせ

安全・安心まちづくり
リーダー養成講座

防犯ボランティアのリーダーを養成する講座を開催します。※要申込・無料
●とき/6~8月の第4土曜日13:00~16:30
●ところ/県図書館(岐阜市)
●定員/45人(申込多数の場合、書類選考)
●申込書/県環境生活政策課、県振興局、市町村の生活安全担当課で配布。ホームページからも入手可。
●受付/4月21日(月)~6月2日(月)
●申込先・問/県環境生活政策課
☎058(272)8205

岐阜県まちづくりリーダー Web検索

相談

多重債務無料相談会

法律専門家が相談(面接・電話)に応じます。
※無料・面接は要申込
●とき・ところ/
○6月14日(土)13:00~16:00
県民生活相談センター(岐阜市)
※電話相談も実施。時間内に申込先へ電話してください。
○7月18日(金)13:00~16:00
中濃総合庁舎(美濃市)
●定員(面接)/各6人(先着順)
●申込方法(面接)/前日までに申込先に電話
●申込先・問/県民生活相談センター
☎058(277)1003

岐阜県多重債務 Web検索

相談

難病医療電話相談

専門医による電話相談を開催します。
※要申込・無料
●とき・相談内容/
6月26日(木)メニエール病などの耳鼻科疾患
7月8日(火)再生不良性貧血などの血液疾患
●申込方法/前日までに申込先に電話・FAX
●申込先・問/難病生きがいサポートセンター
☎ FAX058(214)8733

難病生きがいサポートセンター Web検索

募集

社会基盤メンテナンスサポーター募集!

県が管理する道路の舗装状況などを点検していただくボランティアを募集します。(講習会あり)※要申込・無料
●募集期間/5月12日(月)~6月13日(金)
●申込書/県道路維持課、県土木事務所配布。ホームページからも入手可。
●申込先・問/県道路維持課 ☎058(272)8535

社会基盤メンテナンスサポーター Web検索

試験

調理師試験

●試験日/9月1日(月)
●試験場所/岐阜経済大学(大垣市)、多治見市文化会館、飛騨総合庁舎(高山市)
●願書/4月21日(月)から県保健所(センターを含む)、岐阜市保健所、県生活衛生課で配布。ホームページからも入手可。
●受付/5月26日(月)~6月6日(金)
●問/県生活衛生課 ☎058(272)8281

岐阜県調理師試験 Web検索

お知らせ

点訳・音訳奉仕員
養成講習会

65歳以下の方が対象です。(6月第2週から平成27年3月まで各29回)
※要申込・無料
【点訳奉仕員養成講習会】
○とき・ところ/
○視覚障害者生活情報センターぎふ(岐阜市)
毎週木曜日13:00~15:00
○可児市福祉センター
毎週金曜日10:00~12:00
○定員/各20人(先着順)

【音訳奉仕員養成講習会】

○とき・ところ/
○視覚障害者生活情報センターぎふ(岐阜市)
毎週水曜日10:00~12:00
○瑞穂市民センターほか
毎週木曜日13:00~15:00
○定員/各20人(先着順)

●申込方法/5月1日(木)~27日(火)までに、住所・氏名・電話番号・希望講習会名を申込先に電話またはFAX
●申込先・問/(福)岐阜アソシア
☎058(263)1310
FAX058(266)6369

岐阜アソシア Web検索



俳句



春めきて肌によさしく風はこぶ

村雲とみ子

業終えて夢広がりぬ春昔

安倍栄香

昼下がり一気に落ちる春の雪

村雲とも子

道の辺の落葉の蔭の新芽かな

安江とくよ

耳で聞く春の訪れ何からか

村雲春子

人口の動き

世帯数	…866	世帯
人口	…2,544人	
	(男1,227人 女1,317人)	
転入	…6人	
転出	…23人	
出生	…1人	
死亡	…8人	

先月との比較24人減
昨年との比較54人減

3月末住民登録人口から

お誕生おめでとうございます
お悔み申し上げます
お祝い申し上げます
(勲平・真代/日向)

小池ちさ	八十九歳	(中谷)
長谷川萬二	八十五歳	(大明神)
桂川學	八十二歳	(日向)
安江信子	八十六歳	(日向)
安江益良	八十一歳	(柏本)
田口幸男	八十歳	(大沢)

※敬称略

ひよこ

自治会長さんを始め多くの役員の方が交代されました。変化の予感がある本年度、よろしくお願ひします。

役場も四人の新しい仲間を迎えました。村の職員を希望した時の初心を忘れず、活躍してくれることを期待すると共に、在職する私達も気持ちを新たにして職務に取り組みたいと思います。

さて、今月号から「岐阜県からのお知らせ」を掲載することになりました。相談や募集などのお知らせが掲載されていますのでご利用下さい。(I)

